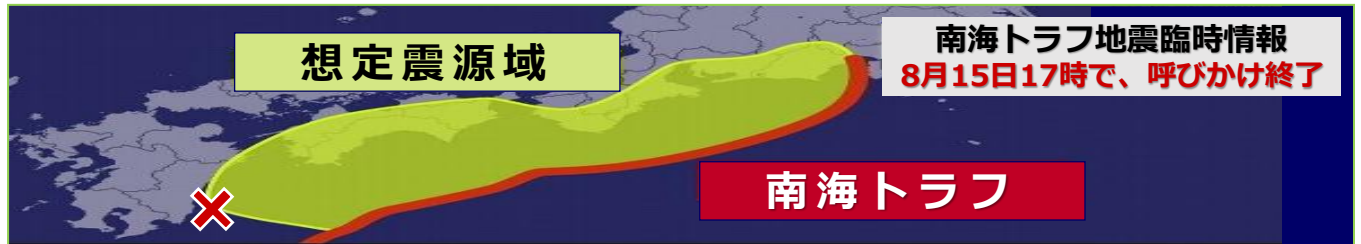


- 南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を、社会・自治体・市民はどう対応したのか!
- 大地震の実態は!、南海トラフ地震は一度で終わらない!… 地震の後にさらに大地震が! 私たちにできること… 日ごろの備えを再確認した上で、社会活動(通常生活)の継続を!

南海トラフ地震の想定震源域 気象庁“特段の変化なし”

NHK報道
資料より



しかし、“いつ大地震が起きてもおかしくない” ふだんからの備えを!

社会・地方自治体は どう対応したか?

気象庁・内閣府
NHK資料より

- ▶ 国(気象庁)が 地震への備えを再確認にした上で、社会活動の継続を呼びかける中、各地で対策がとられた一方、お盆休みの観光シーズンに影響が出たケースも。



- ▶ 南紀白浜などの海水浴場は、臨時情報「巨大地震注意」呼びかけ中は、閉鎖が相次ぐ。
- ▶ 観光地の宿泊施設などはキャンセルが相次ぎ、観光シーズンに影響が広がる!
- ▶ よさこい祭り/阿波踊りは対策講じ実施。特に津波浸水地域 高知の人出は 2.5倍に。

専門家は…[巨大地震注意]の場合は 自治体の判断に委ねられている。自治体ごとに地震/津波のリスクは違うため、対応が分かれたことは 前向きに評価。その上で、経験を自治体間で共有し、今後に生かすことが大切だと指摘。

対象地域に住む方々は、どう対応したのか!

NHK報道・
関谷教授資料より

- ▶ **83%が 臨時情報注意を見聞きした**：また、地震が起きると認識した人は**75%**にも達する。専門家は「冷静な受け止め」だが、誤解ないよう理解してもらう必要がある。
- ▶ **1973年オイルショック**：トイレトペーパー買い占め。**新型コロナ**：トイレトペーパー・ティッシュ・マスク。**今回**：一部飲料水が品切れに、防災用品売上8倍。
- ▶ **偽情報の拡散**：Xでは「2024年8月14日に南海トラフは起こる」とした6年前の投稿だとする画像を貼り付けた投稿が、9日までに2680万回以上閲覧されている。

官公庁など公的機関・報道機関の情報、Web/公式のNSなどの情報確認を。

実は、知られていない「臨時情報」も…

京都大学防災研究所
矢守克也教授より

- ▶ 今回の [巨大地震注意] 臨時情報と同じように、北海道から関東に被害が想定される [巨大地震注意] の情報が2022年から導入されていますが、周知が進んでいません。
- ▶ 北海道沖「千島海溝」と三陸沖「日本海溝」では、過去マグニチュード7~9クラスの地震が繰り返し起きていて、最大クラス巨大地震発生が切迫と考えられています。

— 会員の皆さまへお願い !! 南海トラフ“地震臨時情報” 私たちにできること —

- ❖ 臨時情報《巨大地震 注意》は終了! 日頃から**備え確認**と**ローリングストック**の対応!!
- ❖ 地震への備え：この機会に**再点検**を(不足品購入/情報確認)、**スパム/デマ情報**に注意を!!